

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	39
都道府県名	高知県

学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
高知県学力向上推進地域	274 校 (21 校)	122 校 (9 校)	396 校 (30 校)

学力向上推進協議会（地区別協議会）の設置数及び域内の学校数

地区別協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
東部地区学力向上推進協議会	50 校 (5 校)	27 校 (3 校)	77 校 (8 校)
中部地区学力向上推進協議会	108 校 (5 校)	45 校 (3 校)	153 校 (8 校)
西部地区学力向上推進協議会	77 校 (5 校)	34 校 (2 校)	111 校 (7 校)
高知市学力向上推進協議会	39 校 (6 校)	16 校 (1 校)	55 校 (7 校)

都道府県教育委員会としての支援策

- (1) 地区別協議会に対して
- ・各地区推進協議会に参加し、学力向上のための具体策及び成果と課題についての協議等での意見交流、助言、講話などを行った。
- (2) 域内の各小・中学校に対して（含：学力向上フロンティアスクール）に対して
- ・学力向上総合支援事業により、幼保小中連携推進事業や分かる楽しい授業の研究実践事業など、各市町村や学校が地域の特色を生かして取り組む学力向上策を支援する。（市町村への補助事業）
 - ・個に応じた指導のための研究・実践が効果的に行われるよう指導主事が積極的に訪問指導をする。
- (3) 実践研究の成果の普及の方策の構築
- ・高知県学力向上推進協議会を開催し、各校のホームページの充実について依頼したり、実践報告の場を設けている。高知県学力向上推進協議会における参加については、フロンティアスクール以外の関係者にも、広く呼びかけており、高知県全体に広まる契機としている。
 - ・県内各小中学校の研究主任を対象にした「学力向上連絡協議会」において各フロンティアスクールの成果について実践発表を行うことにより、成果

を管内にひろめている。

- ・フロンティアスクールの取組みの成果をまとめ、県内全小中学校等へ配布する。
- ・高知県教育委員会小中学校課ホームページ上で、フロンティア事業に関する情報提供を行ったり、フロンティア校のホームページにリンクできるようにしている。また、メールマガジンにも、発表会に参加した情報や、訪問した際の様子などを掲載し、全市町村、小中学校に配信している。

学力把握のための都道府県としての取組について

・公立小中学校を対象に、学力調査を実施し、県において集計し、県としての分析をして各市町村や学校に、情報提供している。また、調査結果については、各校で授業改善や生徒理解に役立てている。

学力向上推進協議会について

(1) 開催時期及び参加対象

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 第1回 | 平成15年5月16日
指導主事、校長、教員 |
| 第2回 | 平成16年2月20日
指導主事、国・公・私立小中学校の教職員、保護者 |

(2) 協議会の主な内容等

- | | |
|-----|---|
| 第1回 | (趣旨) <ul style="list-style-type: none">・高知県学力向上推進地域内における本事業の円滑な実施及びフロンティアスクール等における実践・研究の成果の普及を推進する。 (主な協議内容) <ul style="list-style-type: none">「全体会」<ul style="list-style-type: none">・学力向上フロンティア事業の趣旨について・経費の支出について「分科会」<ul style="list-style-type: none">・各校の研究概要についての協議 (協議会の中で報告された内容) <ul style="list-style-type: none">・各校の本年度の取り組みの方向・普及方法の工夫 |
| 第2回 | (趣旨) <ul style="list-style-type: none">・高知県学力向上推進地域内における本事業の円滑な実施及びフロンティアスクール等における実践・研究の成果の普及を推進する。 (主な協議内容) <ul style="list-style-type: none">実践発表<ul style="list-style-type: none">「指導と評価の一体化をめざして」「学習環境づくりと少人数指導」講演<ul style="list-style-type: none">「確かな学力の形成と少人数指導の在り方」 (協議会の中で報告された内容) <ul style="list-style-type: none">・意欲を高める指導の在り方について・少人数指導の在り方や評価の方法について |

実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

事業評価の実施方法・内容

- (1) 県内各小・中学校の研究主任を対象に行われる学力向上連絡協議会(地区別・小中別)での、実践発表や各校の児童生徒の学力向上に向けた取組状況に関する提出資料等を基に行われる各推進地域内の取組の評価を行う。
- (2) 指導主事が学校訪問指導を行い、研究推進状況を把握し、的確な支援等を行いながら評価に努める。
- (3) 年度末に学力向上推進協議会を開催し、学力向上に際して具体的な取組における成果や課題を明確にする。

進捗状況(成果及び課題等)

- ・学力向上連絡協議会(地区別・小中別)提出資料により、補充指導や繰り返し指導など、基礎学力の定着と学力向上に向けた取組状況を把握し各市町村に情報提供できた。
- ・多くの学校が、学力向上に向けて授業研修や講演会などの校内研修を進めている。
- ・すべての学校が、学力向上に向けて、様々な取組を実践しているのは事実であるが、抱えている課題も大きく、取組が多様であり、焦点化できていない面もある。

【地区別協議会における特色ある取組】

地区内の学校に対する支援策

- ・各校の研究テーマやニーズに沿った最新情報の提供や、研究授業に対しての支援を学校訪問時に実施。
- ・「授業改善」をテーマとした県外講師を招聘(「学力向上」、「評価規準」を柱とした講演)し、共通学習の場を設定し研究推進を図る。
(中部地区学力向上推進協議会)
- ・各市町村担当が協議会での情報、資料を管轄小中学校へ提供している。
- ・東部教育事務所自主企画事業「わかる授業づくり」において、各ブロックの研究の中心となり、授業改善に向けて共同研究を推進している。
(東部地区学力向上推進協議会)
- ・地区内のフロンティアスクールの研究推進への支援として、県外のフロンティアスクールから講師を招聘し、実践事例の紹介をしていただくとともに、実践交流を深める。さらに、研修会への参加を管内の各学校に広く呼びかけ、研修の機会として広く位置づける。
- ・フロンティアスクール同士の授業を公開する取組に対して、予算的な支援を行う。
- ・各フロンティアスクールからの要請に対して最優先に対応。各校の研究推進への支援を継続的に行う。
(西部地区学力向上推進協議会)

研究成果の普及の方策

- ・管内「学力向上推進協議会」の各校の取組発表を通して、研究の共有化を図る。
- ・学校訪問において、先進校の実践事例の紹介や管内フロンティア校の事例紹介。
- ・中部地区学力向上推進連絡協議会(教育事務所主催事業)と兼ねて協議会を実施し、フロンティア校の取組発表の場に、学力向上推進連絡協議会の代表者3名が参加し、各ブロックで紹介している。(年間2回)
(中部地区学力向上推進協議会)
- ・市町村で研究指定校とし、中心校として研究を進めている。
- ・中間発表として下記の学校が自主発表会を開催した。
山田小学校・馬路小学校・片地小学校
(東部地区学力向上推進協議会)
- ・地区全体としての取組を冊子にまとめ、管内の教育委員会・各学校へ配布。
(西部地区学力向上推進協議会)

- ・ 高知市立学校教頭研修会において、各フロンティアスクールの学力向上の取組を発表した。
- ・ 2003年12月号「高知市学力向上対策ニュース 教育チャンネル57」(発行：高知市教育委員会，高知市立学校全職員に配布)に「高知地区学力向上推進協議会」の報告として学力向上フロンティア事業と各校の取組を掲載した。
(高知市学力向上推進協議会)